

新たな議員の顔ぶれ

令和元年5月19日執行の加西市議会議員選挙によって、15名の議員が決まりました。任期は令和元年5月22日から令和5年5月21日までとなります。新たな議員の顔ぶれと、それぞれの議員によるこれからの抱負や自己紹介を掲載します。(50音順、敬称略、○内数字は当選回数)



井上 芳弘 議員
⑨

自治体の役割は住民の福祉の増進であり、住民の暮らしを守ることが何より大切です。医療・保険、幼児・学校教育を最優先課題とし、国保税の引き下げ、子どもの医療費や保育料無料制度の充実に引き続き取り組めます。また、保育、学校施設、病院等公共施設は市民の財産であり、安易な統廃合・民営化には反対します。



北川 克則 議員
①

PTA活動や市民団体活動、社会人経験から学んだ市民目線と経済人目線で、市民の生活を大切に、少子高齢化対策に行政と両輪で取り組んでいきます。コツコツと誠実に、新しい発想で時には大胆に、参画する政治を志します。

好きな言葉：『出来る方法は必ずある』



衣笠 利則 議員
③

3期目を迎えることが出来ました。衣笠利則です。前期は議員の皆様方にご協力頂き、議長を無事に終えることが出来ました。今期は市民の生活を中心とした行政のあり方について、地域の活力、高齢者問題、子育て支援等々をテーマに積極的に取り組みます。また、議会運営委員長として議会の運営と更なる議会改革に努めます。



黒田 秀一 議員
④

このたび自由民主党加西支部幹事長を拝命し、また、会派も自由民主党とし、国に準ずる施策を行ってまいりたいと思います。自衛隊とのパイプ役として、市民の安心安全な暮らしを支えるとともに、災害に対しては防災、減災に取り組めます。釜坂トンネル実現に向け、また、加西市の活性化に努めてまいります。



佐伯 欣子 議員
①

皆様から与えられました4年間、女性の視点で、市民の皆様、地域の皆様の声に真剣に耳を傾け市政につながります。大きくは、女性参画、教育（子育て、障がい）、健康福祉（予防医療）に取り組めます。積小為大（小事を積み重ねて大事をなす）を目標に、研鑽し、課題に対しては、工夫と努力で頑張ります。



下江 一将 議員
①

若者・子育て世代は自らの想いに向けて行動を起こし、お年寄りは地域の困り事を引き継ぐ、そのための間役となれるよう取り組みます。ご縁と感謝を大切に、下江一将ならではの新人・若者・ソトモノの視点を持って対話と交流が生まれる環境を整えていきます。よろしく願いいたします！